

様式第1号（第8条、第9条関係）

事業者行動計画書 ~~（変更計画書）~~

2021年 6月 25日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所 （法人にあっては、主たる事務所の所在地）

東京都台東区三ノ輪1-21-7

氏名 （法人にあっては、名称および代表者の氏名）

平岡織染株式会社 代表取締役社長 平岡利文

（代理人）滋賀ターポリン工場長 浦口 聡

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 ~~（第20条第3項 ・ 第20条第4項 - 第22条第1項 ・ 第22条第2項において準用する同条例第20条第4項）~~ の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 ~~（変更）~~ したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	平岡織染株式会社 代表取締役社長 平岡 利文
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都台東区三ノ輪1-21-7

1 事業所の概要

事業所の名称	平岡織染株式会社 滋賀ターポリン工場					
事業所の所在地	滋賀県草津市岡本町大谷1000-19					
主たる事業	細分類番号	1	1	9	4	帆布製品製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

1 計画期間

計画期間	R3年度～ R5年度
------	------------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

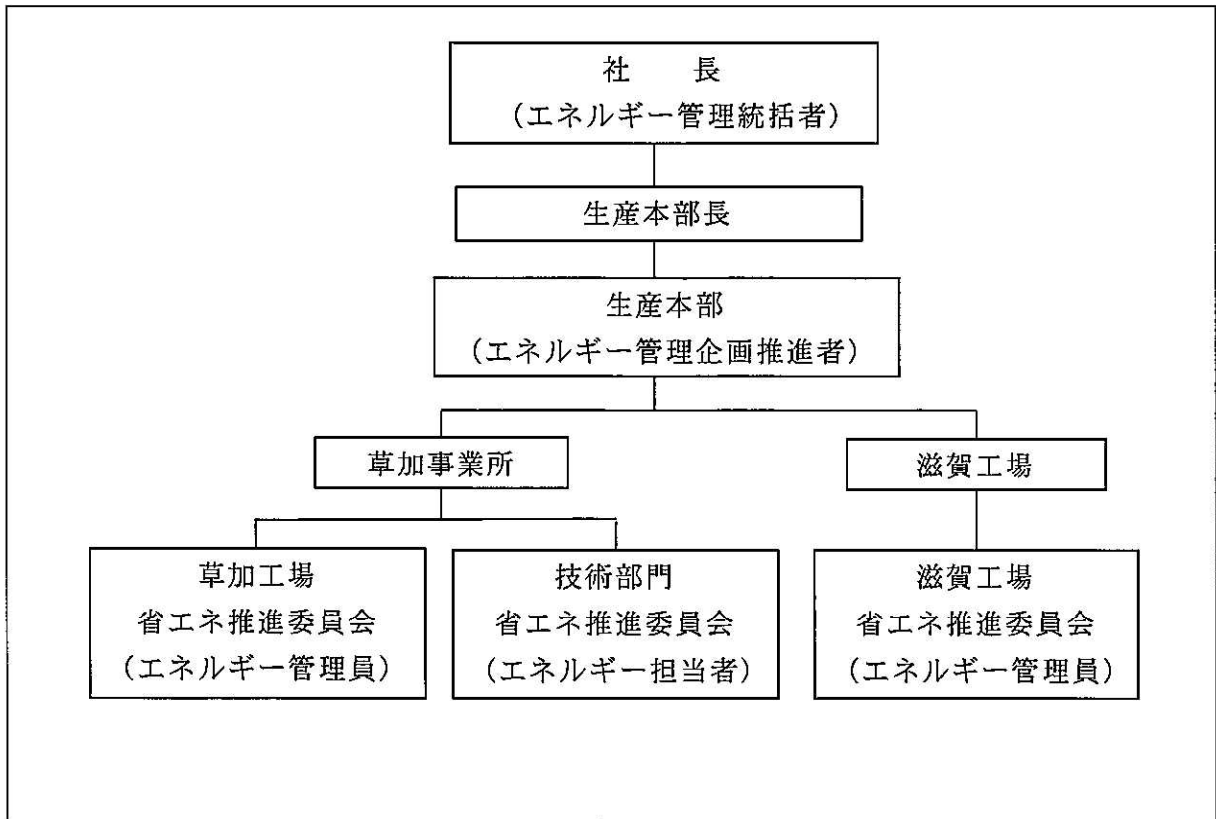
平岡織染株式会社は、繊維素材をベースに様々な合成樹脂と組み合わせる事で、機能的で使いやすい製品を製造、提供しております。

私たちは、企業が成長し続けるためには、企業活動に伴って発生する環境への負荷を最小限に留めることが最も重要であることを認識しております。

事業活動、製品、サービスから生じる環境への負荷を的確に捉え、技術的そして経済的に可能な範囲で目的・目標を設定し、汚染の予防と環境マネジメントシステムの継続的な維持・改善に努め、環境の保全と向上を図るため、次の施策を推進します。

- ・環境に関する法規制及び、地方自治体との協定を遵守するとともに、自主基準、規程などを整備し、管理の一層の向上に努めます。
- ・省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物の減量化などに積極的に取り組みます。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

滋賀ターボリン工場では、平成14年度より省エネ対策-取り組み活動を実施し、設備投資や設備の運用改善、生産工程の改善を行っております。

H14年度：省エネ推進委員会の設置

H17年度：A重油焚き熱媒ボイラを高効率ガス焚きボイラに更新

H18年度：A重油焚き蒸気ボイラを高効率ガス焚きボイラに更新し重油使用を全廃

H21年度：CO2排出量削減の為、新熱処理機を設置

H23年度：新熱処理機の稼働開始

H28年度：変圧器2台を省エネタイプ1台に更新

H30年度：工場内水銀灯のLED化

H30年度：熱媒ボイラ1基をL2teck製品に更新

H30年度：新熱処理機を熱媒ボイラに更新

R1年度：高圧ボイラ1基を高効率タイプに更新

R2年度：工場棟内蛍光灯のLED化

等の改善を行い、温室効果ガスの削減に取り組んでおります。

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	運用対策	冷暖房機の設定温度表示を実施し電力使用を抑制	R3～5年
2	運用対策	不要時の消灯を励行し、電力使用を抑制	R3～5年
3	設備導入対策	事務所棟等、蛍光灯を順次LEDに更新する	R3～5年
4			
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

平成14年度より省エネルギー活動に取り組んでおりますが、エネルギー消費量が多い製品の割合が増加する傾向にあり、二酸化炭素排出量が思う様に削減できておりません。R2年度はコロナ禍の影響により、前年度よりも二酸化炭素の排出量は減少しておりますが、引き続き設備投資に於いても省エネを意識した更新を実施し、二酸化炭素排出量削減に取り組んで参ります。

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

滋賀工場では従来のテント倉庫用幕材料に遮熱性能を加えた製品「ウルトラマックス®クール」を生産しております。
当社の遮熱性能を加えた「ウルトラマックス®クール」は従来の幕材料と比較し、内部温度が最大4.3℃（当社比）下がり空調の消費電力を抑える事ができます。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

当工場で生産する遮熱性能を有するテント倉庫用幕材「ウルトラマックス®クール」の継続的生産により、低炭素社会づくりに貢献する。